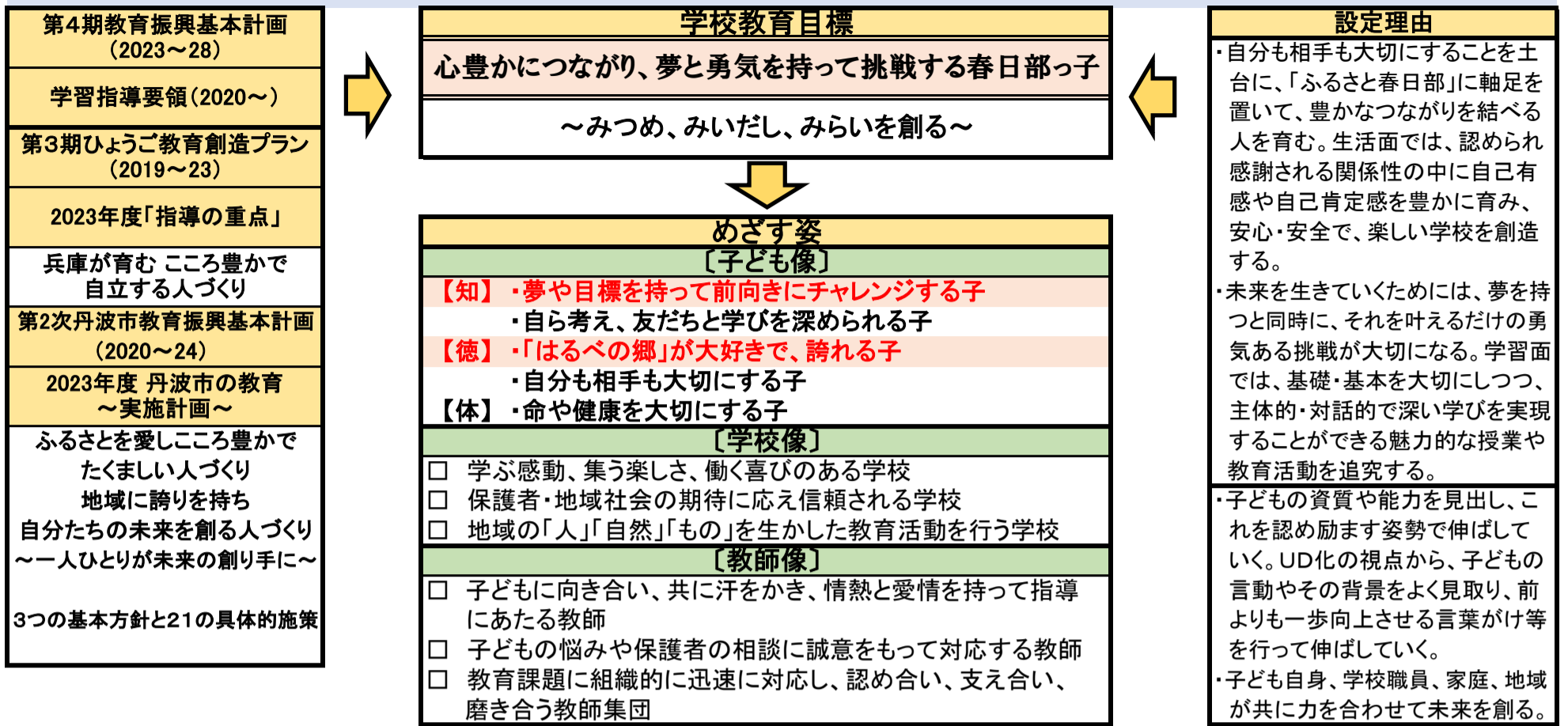


令和5年度 春日部小学校 学校経営方針 「地域とともにこんな学校をつくります」



重点目標・具体的努力目標 (赤字は、コミュニティ・スクールに関連した内容、青字は、新規の内容)			
[学力の向上]	[安心・安全な環境づくり]	[より良い生き方の追究]	[家庭や地域との連携等]
<p>①【確かな学びの保障】</p> <ul style="list-style-type: none"> ※基礎的・基本的な知識や技能を確実に定着させる。 ※自ら課題を見つけ、多様な他者との協働的な学習をとおして、「わかった」「できた」と実感できる授業づくりを行う。 ※国語科を中心に「読むこと」についての研究をすすめて、読み取ったことから自分の考えや思いを表現できる児童を育てる。 ・「個別最適化」を意識するとともに自学自習・自走できる力を伸ばす。 <p>②【柔軟な教育課程の編成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・兵庫型学習システム・専科教員・学級担任等を組み合わせて、高学年での教科担任制を推進する。 ・カリキュラムマネジメントによる教育内容の精選と充実を図る。 <p>③【情報教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ※一人一台タブレットやICT機器を「考える力をつける」ために活用する。 ※自分で考え、それを形にしてい、プログラミング的思考力や行動力を育むプログラミング教育を実践する。 ※情報モラルや使い方のルールについて学年に応じて繰り返し指導する。 <p>④【基礎基本の定着】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業改善に加えて、朝のスキルタイム、ひょうごがんばり学習タイム、家庭学習(復習・予習)等の充実を図る。 ・朝のスキルタイムの実施方法を見直し、定着度を評価する。 ※読み聞かせやはるべ文庫を充実させ、本への関心を高め、読書習慣の定着を図る。 	<p>①【個別の教育ニーズ対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育コーディネーター、学級担任、特別支援教育支援員、多文化共生サポーター、通級指導員や専門機関との連携を図り、一人一人の教育ニーズに応じた合理的配慮と教育支援の充実を図り、すべての子どもが学びやすい環境づくりに取り組む。 <p>②【居場所作り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員会議等で児童理解を図り、毎日楽しく学校に通える居場所づくりに努める。 ・一人ひとりの理解と尊重に努め、良さを引き出すと共に、がんばりや伸びを認めて誉める。 ・学級や学校での活動、地域への貢献活動を通して、自分や友だちのいいところを見つけ、愛され・認められ・感謝される心豊かなつながり体験から自己有用感を育む。 <p>③【いじめ・不登校対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の人権・命を守るために、いじめ・不登校の未然防止、早期発見、早期対応等の指導を徹底する。 ※自分からは伝えにくい児童もいるため、一人ひとりをじっくり見つめ話を聞く。 ・管理職への報告・連絡・相談を徹底し、いじめ・不登校対応チームを中心とした迅速・適切な対応を行う。 ・家庭・専門機関と連携し、登校を促すとともに、自立する力を育成する。 ・SNSなどを含む情報モラル教育の充実をPTAと共に図り、人権と命を守る。 <p>④【危機管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不審者対応訓練、引き渡し訓練、避難訓練を実施し、尊い命を守るという意識と行動力を育てる。(市防災教育教材「心つながり」や補助動画教材、丹波市防災教育モデルプランを活用) ・登下校時の安全確保のため、保護者・地域の方による見守りボランティアやたんば号によるパトロールを行う。 	<p>①【道徳・人権教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別の教科「道徳」をはじめ、全教育課程を通して、規範意識や人権尊重の意識を育てる。 ・船松人権歴史館見学や人権参観日を実施し、発達段階に応じた内容を系統的に指導する。 ・性の多様性等の理解に関する研修を行い、ジェンダー平等教育に取り組む。 <p>②【キャリア教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の名人鉄人に学ぶ学習やプロフェッショナル学習等を通して、将来やってみたいこと等を考える機会を作る。 ・兵庫県キャリアパスポート、丹波市版キャリアノートを活用し、自分の生き方を考えさせる。 <p>③【連続した学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定こども園との交流(運動会・音楽会・5歳児と5年生・体験入学等)を行う。 ・中学校との交流(出前授業等)を行う。 <p>④【健康づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早寝・早起き・おひさま・朝ごはんの生活習慣作りを働きかける。 ・新体力テストの結果を踏まえた体育指導の充実を図る。 ・運動会、マラソン記録会等の機会に自分を鍛えようとする姿勢で取り組み、達成感を実感させる。 ・家庭でのテレビやゲームの時間の使い方等のルールを決めて時間を有効に使わせ、ゲーム障害やトラブルを防止する。 	<p>①【コミュニティ・スクール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会「かすかべっ子はぐくみたい」を核としながら、PTA、自治協議会、同窓会等との連携を図り、教育活動の充実を目指す。 ・地域学校協働活動推進員や学校支援コーディネーターと連携して取り組む。 ・コミスク掲示板の活用を図る。 <p>②【あいさつ運動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校だけでなく家庭、地域と連携してあいさつ運動に取り組む。 <p>③【ふるさと学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校支援コーディネーターやゲストティーチャーの協力を得て、人や自然と触れ合い、地域の良さを学ぶふるさと学習を行う。 ・町の幸福論について学習し、ゲストティーチャーや地域の方に発信する。 <p>④【情報発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校便り、校長通信(HP)、学級通信、保健便り、ホームページ等を活用して積極的に情報を提供する。 <p>⑤【働き方改革】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心して働ける職場づくり・校務・業務の効率化に取り組み、子どもに向き合う時間を確保すると共に、教育の質の維持・向上と教職員の能力向上を目指す。 ・ルールブックを改定するとともに課題を整理して対策を実行する。 ・年休の計画的取得によるリフレッシュ。 ※「スペース」を活用し、打ち合わせ時間の削減を図る。 ・毎週水曜日を「定時退勤日」とする。 ・メンタルヘルス・ケアとハラスメント等の防止。